

茨木市空き家・空き地等「自治会モデル事業」プロジェクト

高齢化が進む郊外開発住宅地の住民に対し、自治会が主体となることで空き家問題の啓発を図る
継続的に負担の無い時間、集まりやすい場所でセミナーを開催することで、気軽な参加を促進

● 事業の目的

- 空き家だらけのまちにしないために、自治会が中心となり、専門家や行政と連携して住宅所有者が備えるべき知識や対応を習得する機会や、住民同士でまちの過去・現状・将来について語り合う場を継続的に創出

● 活動エリア

- 大阪府茨木市

● 実施事業の概要

- 事業①: 住民向け空き家セミナー・ワークショップ・相談会の開催(空き家問題、インスペクション体験、相続、塗装DIY体験、将来のまち座談会)
- 事業②: 「空き家対策自治会版」手引き作成

● 事業実施で得た成果

- 事業①関係: 参加者138人、相談件数9件
- 事業①関係: 連続して様々なテーマにより開催したため、住民に多様な知識の重要性を認識いただけた
- 事業①関係: 継続した集まりにより、まちの良さを再発見し、今後の課題の共有が図れ、まちづくりの機運が高まった
- 事業①関係: 住民は空き家に問題意識が無いのではなく、何をすればわからない人が大半だった
- 事業②関係: 手引き作成が完了。各戸に配布し、参加できなかった住民にも情報共有を図った

● 事業実施で得た課題

- 継続のためには、若い世代の参加促進や、より多くの住民が参加できる時間、曜日の見極めが重要

● 構成事業者名及び役割分担(構成事業者名:担っている役割)

- (一社)空き家相談士協会: 事業全体統括、講師派遣
- 藍野みどりが丘自治会: 取組内容の決定、地域の情報提供、自治会員への事業周知・参加募集・取組報告
- 茨木市: 事業のサポート・共同検討、空き家問題についての出前講座
- 大阪の住まい活性化フォーラム: 専門家ネットワークを活用して事業のサポート

「空き家対策自治会版」手引き



空き家セミナーチラシ

